安全データシート

1. 製品及び会社情報　追記

販売会社名	：株式会社理研グリーン
住所	：東京都台東区東上野四丁目8番1号
担当部門	：開発部企画開発課
電話番号	：03－6802－8587
FAX 番号	：03－6802－8303
推奨用途及び使用上の制限	：農薬

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降を参照してください。

作成日2011 年 12 月 1 日
改訂日2022 年 10月 26 日

安全データシート（SDS）

１．製品及び会社情報

製品名　　グリーンアージラン液剤
会社名　　保土谷ＵＰＬ株式会社
住所　　〒105-0021　東京都港区東新橋一丁目９番２号　汐留住友ビル
担当部門　営業部
電話番号　03-6852-0505　　FAX 番号　03-6274-5835
メールアドレス　hodogayaupl@hodogaya-upl.com
緊急連絡先　保土谷ＵＰＬ株式会社　営業部
電話番号　　03-6852-0500
整理番号　　0102

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

環境有害性　　：水生環境有害性　短期（急性）区分３

上記に記載されていないＧＨＳ分類区分は、「区分に該当しない」あるいは「分類できない」である

GHS ラベル要素
絵表示　　：該当なし
注意喚起　　：該当なし
危険有害性情報：H402 水生生物に有害

注意書き　　：【安全対策】
P273　必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
【廃棄】
P501　内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

３．組成及び成分情報

化学物質品・混合物の区別　：混合物
化学名又は一般名　　：N-メトキシカルボニルスルファニルアミドナトリウム
（一般名：アシュラム）
含有量　　：37%　　（他　63%は水及び展着剤等）
分子式　　：$C_8H_9N_2NaO_4S$
官報公示整理番号　化審法：(9)-2098
CAS　No.　　：2302-17-2

４．応急措置

吸入した場合　　：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　　：直ちに水と石鹸でよく洗うこと。
眼に入った場合　　：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合　　：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状　　：情報なし
応急処置をする者の保護　：暴露による二次災害の防止のため、『８．暴露防止及び保護措置』の保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項：情報なし

５．火災時の措置
消火剤　　：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂類など
使ってはならない消火剤：直接の棒状注水（飛散及び火災の延焼を避けるため）
特有の危険有害性　　：火災時には、刺激性で有害なガスを放出する可能性がある。
特有の消火方法　　：消火作業時には火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、風上から行い、煙を吸入しないように注意する。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
消火を行う者の保護　：消火作業の際には、呼吸器用保護具、保護帽、保護メガネ、保護手袋、耐火性防護服を着用する。

６．漏出時の措置
人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置　：風下の人を避難させ、風上より作業する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外 の立ち入りを禁止する。 漏出物の処理を行う際には、適切な保護具『８．暴露防止及び保護措 置』の項を参照）を着用する。
環境に対する注意事項：漏出物や汚染洗浄水が河川等に流入しないように堰き止め、環境中に放出させない。
封じ込め及び浄化方法・機材：少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の場合は、周辺を土砂で覆って流出を防止し、安全な場所に導いて から回収する。本品は多少金属を腐食するため、金属容器は使用しないこと。
二次災害の防止策　　：全ての着火源（熱、火花、裸火、高温、静電気放電等）を取り除く。
排水溝、下水溝、地下室及び閉鎖場所への流入を防ぐ。　本品は多少金属を腐食するため、金属容器は使用しないこと。

７．取扱及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　　：局所排気、全体換気を行う。『８．暴露防止及び保護措置』を参照）

安全取扱注意事項　：ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

接触回避　　：情報なし

衛生対策　　：この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手をよく洗うこと。

保管

保管条件　　：容器に密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

混触危険物質　　：情報なし

容器包装材料　　：情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策　　：局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行う。取扱い作業場の近くに手洗い・洗眼設備、安全シャワー等を設置すること。

管理濃度　　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会　：未設定

ACGIH　　：未設定

保護具

呼吸器の保護具　　：農薬用マスク

手の保護具　　：保護手袋

眼の保護具　　：保護メガネ

皮膚及び身体の保護具：保護衣

９．物理的および化学的性質

物理状態　　：液体

色　　：黄褐色

臭い　　：データなし

融点/凝固点　　：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性　　：情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし

引火点　　：データなし

自然発火点　　：データなし

分解温度　　：データなし

pH　　：7.6（5 倍希釈液）

動粘性度　　：1,092mPa・s（20℃）

溶解度　　：データなし
n-オクタノール／水分配係数：該当しない
蒸気圧　　：データなし
密度及び／又は相対密度：1.17～1.23 g/cm^3
（20℃） 相対ガス密度 ：データなし
粒子特性　　：該当しない

１０．安定性及び反応性

反応性　　：通常状態で安定である。
化学的安定性　　：法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考える。
危険有害反応の可能性：通常の保管・取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件　　：高温、静電気、火気などの着火源
混触危険物質　　：情報なし 危険有害性のある解生成物：通常の保管・取扱い条件下では危険有害な分解生成物はない。なお、燃焼すると刺激性で有毒なガスを生成する可能性がある。

１１．有害性情報

急性毒性　経口　　：(1) により、区分に該当しない。
根拠データ
(1) ラット LD_{50} 値 雌雄 >10,000 mg/kg
経皮　　：(1) により、区分に該当しない。
根拠データ
(1) ラット LD_{50} 値 雌雄 >2,500 mg/kg
吸入　　：データがないため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性　：(1) により、区分に該当しない。
根拠データ
(1) ウサギ 皮膚刺激性なし
眼に対する重篤な損傷／刺激性：(1) により、区分に該当しない。
根拠データ
(1) ウサギ 眼刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性　　：データがないため、分類できない。
皮膚感作性　　：(1) により、区分に該当しない。
根拠データ
(1) ヒト 皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性　　：データがないため、分類できない。
発がん性　　：データがないため、分類できない。
生殖毒性　　：データがないため、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：データ不足のため、分類できない。

特定標的臓器毒性（反復暴露）: データ不足のため、分類できない。
誤えん有害性　　: データがないため、分類できない。

１２．環境影響情報
生態毒性

水生環境有害性

短期（急性）　: (1) ～ (3) により、区分 3 とした。

【根拠データ】

(1) コイ（96 時間）	LC50	>1,000 mg/L
(2) オオミジンコ（48 時間）	EC50	370 mg/L
(3) 藻類（緑藻）(72 時間）	ErC50	73 mg/L

長期（慢性）　: データ不足のため、分類できない。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど適切に廃棄する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

１４．輸送上の注意
国際規制

国連分類　　: 該当しない
国連番号　　: 該当しない
国内規制　　:『１５の適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器などによって輸送する。
特別安全対策　: 輸送に際しては、包装あるいは容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

１５．適用法令

農薬取締法　　: 第 22788 号
化学物質管理促進法(PRTR) : 指定化学物質　該当物質なし
労働安全衛生法　　: 通知対象物質　該当物質なし

１６．その他の情報、記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先　　: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒１１０番	一般市民専用電話（通話料のみ相談者負担）	医療機関専用有料電話（一件につき 2,000 円）
大　阪（365 日、24 時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば（365 日、9 時～21 時対応）	029-852-9999	029-851-9999